

# Press Release



2015年2月12日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086  
神戸市中央区磯上通 7-1-5  
www.lilly.co.jp

EL15-08

本プレスリリースは、米イーライリリー社が2015年2月4日(米国現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、編集したものです。なお、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。この資料の内容および解釈についてはオリジナルが優先することをご了承ください。

## リリー財団、ケニアの AMPATH がん研究所に 100 万ドルの財政支援

-- ケニアの人々が質の高いケアを受けることを目的とした  
長年にわたるパートナーシップに基づく新たな財政支援--

2015年2月4日 インディアナポリス—世界対がんデーにあたり、イーライリリー・アンド・カンパニー(NYSE: LLY、以下「リリー」)は、ケニア・エルドレト市のAMPATHに対し100万ドルの財政支援を行うことを発表しました。リリー財団によるこの財政支援は、新たながんセンターの設備導入やスタッフの増員、現地の医療従事者のトレーニングに利用される予定であり、最終的には、質の高い医療サービスを受けられない人が多いなか、AMPATHがより多くの人々に対しスクリーニング、治療、緩和ケアを提供できるようにすることを目指しています。

AMPATH(Academic Model Providing Access to Healthcare—医療へのアクセスを提供するアカデミック・モデル)は、2001年のケニア西部におけるHIV危機を受けて設立されました。ケニア・エルドレト市のMoi大学付属病院 およびMoi大学医学部、ならびにインディアナ大学が主導する北米のアカデミック・ヘルス・センターコンソーシアムとのパートナーシップに基づき構築されています。AMPATHはHIVでの取り組みが成功した後、継続的に拡大し、糖尿病、高血圧、がんなど他の疾患に対する取り組みも行っています。現在ケニア西部において人口350万人に医療サービスを提供しています。

この取り組みの延長として、2009年にAMPATHがん研究所(Oncology Institute)が立ち上げられました。医師1人、看護師1人でのスタートでした。官民のパートナーシップにより、スタッフおよびサービスを医師10人、中心となる看護師6人およびがん専門薬剤師1人を擁する現在のチームにまで拡大することができました。AMPATHがん研究所では、昨年1万人近い患者が来院し、1万人を超える女性の乳がんスクリーニング、2万人を超える女性の子宮頸がんスクリーニングを行いました。しかし需要は供給をはるかに上回っています。AMPATHがん研究所はケニアに2つしかないがんセンターの1つであり、ケニアの人口4,200万人の半数近くがこの研究所にスクリーニングおよび診療を頼らなくてはならない状況です。

このスクリーニングおよび診療の多くは、テントなどの低水準の施設で提供されています。年内に誕生するAMPATHの新しい4階建てのChandariaがん・慢性疾患センターによりこの状況が変わります。

リリー財団の財政支援は、より多くの人々にスクリーニングおよび治療を提供するため、このセンターの新しいがん外来センターの設備導入、医師、医師助手、および他のスタッフの増員に利用される予定です。さらに、この財政支援は、がんの予防、スクリーニング、治療、および支持療法に特化した研究トレーニング機関の創設を支援します。この機関は、切望されていた現地医療提供者の受け入れ能力の拡充を支援します。

この100万ドルの財政支援は2015～2018年の4年間にわたり支払われる予定です。この新たな支援は、リリーとAMPATHの長年にわたるパートナーシップの上に築かれるものです。2002年から、リリーは糖尿病や精神疾患、がんの患者さんの健康を改善するため、AMPATHに対し医薬品用に6,000万ドル近くを寄付しました。この継続中のパートナーシップについては、この動画でより詳しく知ることができます。

<<https://www.youtube.com/watch?v=e8rPC5QQGJQ>>

シニア・バイスプレジデント兼リリーオンコロジーのプレジデントであるスー・マホニー博士は次のように述べています。「AMPATHは、最も厳しい環境下であっても、必要性の高い人々に対し、質の高い診療とサービスを提供することは可能であるということを示し続けています。私たちは、AMPATHとの協力を深め、このような成長を続けるオンコロジーへの取り組みに参加できることを誇りに思います。こんにちのケニアの人々にとって意義のある改善をもたらすことができ、明日、より多くの人々を支援するための新しい方法を探すことに、心躍ります。」

100万ドルの財政支援に加え、AMPATHとリリーは、AMPATHがん研究所と協力し、リリーの従業員がスキルに基づいたボランティア業務を行う機会を模索しています。

インディアナ大学Melvin and Bren Simonがんセンターのディレクターで、AMPATHがん研究所の共同創業者であるPat Loehrer医師は次のように述べています。「私にとって、このパートナーシップにおいて最も重要な言葉の一つはrafikiという、スワヒリ語で『友』を意味する言葉です。AMPATHおよびAMPATHオンコロジーにおける成功はすべて、献身的な友情と信頼に基づく真の国際的パートナーシップを信じることから生じており、このことは住んでいる場所にかかわらずがん患者さんの助けとなります。」

## **AMPATHについて**

AMPATH(Academic Model Providing Access to Healthcare—医療へのアクセスを提供するアカデミック・モデル)は、ケニア・エルドレト市のMoi大学医学部およびMoi大学付属病院、ならびにインディアナ大学が主導する11のアカデミック・ヘルス・センターによるコンソーシアムのパートナーシップです。ケニア保健省および米国政府とともに、AMPATHは、北米およびサハラ以南のアフリカのために、医療サービスの提供、医療研究、および医療におけるリーダーの育成を行っています。

## **AMPATHがん研究所について**

AMPATHのがんケアサービスは、HIV/AIDSのがんに的を絞ったプログラムから、がんのケア全般の提供へと展開しました。ケニアの医療提供者のニーズを受け、AMPATHオンコロジーは、ほとんどの患者さんがそれまで受けることのできなかつたケアを提供します。包括的で多岐にわたるプログラムにより、スクリーニングや診断、治療、緩和ケアを提供します。AMPATHがん研究所は、ケニア西部に住む1,800万人の人々に対し、質の高いがんケアへのアクセスを提供します。

## **イーライリリー・アンド・カンパニーについて**

リリーは、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。リリーは、1世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世

界中で、リリーの従業員は、必要とする人々の生活を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。リリーについての詳細は次のウェブサイトをご覧ください。 [www.lilly.com](http://www.lilly.com) および <http://newsroom.lilly.com/social-channels>.

#### **日本イーライリリーについて**

日本イーライリリー株式会社は、イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、本年設立 40 周年を迎えます。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症 (AD/HD)、がん (非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬、高コレステロール血症などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>